

山梨県中小企業団体中央会 機関誌

中小企業組合NAVI

2021

12

第781/356号
毎月1日発行

..... → やまなしの中小企業と組合の羅針盤 ←

昭和36年4月10日第三種郵便物認可
会員の購読料は賦課金の中に含まれます。

定価 100円



山梨県中小企業団体青年中央会
創立50周年記念祝賀会



【特集】

山梨県中小企業団体青年中央会 創立50周年記念式典開催



青年中央会の活動をスライドショーで上映



踊りを披露するソングリーダー部の皆さん



熱唱するサノケン

目次

- 2 【特集】… 青年中央会創立 50 周年記念式典
- 3 【活動】… 情報連絡員会議
事務連絡協議会視察研修
- 4～5 【事例】… 組合活動あれこれ／新設組合紹介
- 5 【情報】… 栄誉 各賞を受賞された方々
- 6 【取材】… ものづくり最前線

- 7 【取材】… 外国人技能実習制度適正化講習会
第 73 回全国大会(神奈川県)
- 8～9 【景況】… データから見た業界の動き(10月)
- 10 【施策】… 国等の契約の基本方針
- 11～12 【情報】… 情報BOX

読みやすく判別しやすい「ユニバーサルデザインフォント」を採用しています

発行所

山梨県中小企業団体中央会

甲府市飯田 2-2-1 中小企業会館 4階 TEL 055(237) 3215 FAX 055(237) 3216
<http://www.chuokai-yamanashi.or.jp> e-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp



山梨県中小企業団体青年中央会が創立50周年を迎える

記念式典を開催し、歴代会長に感謝状を贈呈

今年、創立50年を迎えた山梨県中小企業団体青年中央会（川崎太会長 会員22 青年部）は、「創立50周年記念事業（記念講演会・記念式典・祝賀会）」を企画・実施した。記念事業は昨年立ち上げた50周年記念事業プロジェクト実行委員会のメンバーが中心となり、これまでの青年中央会の活動と歴史を振り返るとともに、青年中央会を築き上げてきた歴代会長に感謝の意を表する機会として、準備を進めてきた。



式辞を述べる川崎会長

青年中央会は、山梨県中央会の青年部組織として、昭和47年に組合に所属する企業の若手経営者や後継者を会員とした組織として発足。創立20周年を迎えた平成4年を期に、会員資格を個人制から組合青年部を会員とする青年部等組織制に移行し、旧青年中央会から数えて21代目の会長となる永井慶喜氏のもと、新生「山梨県中小企業団体青年中央会」として出発した。

記念式典は、11月5日にベルクラシック甲府において来賓や歴代会長、会員青年部など約80名が出席し開催された。開催の数カ月前まで新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっており、延期や縮小等を含め様々な開催シナリオを検討していたが、式典が近づくにつれ感染者数が徐々に減少傾向となったことから、当初の計画通り実施できる運びとなった。

式典の記念公演では、(株)はくばくの代表取締役社長の長澤重俊氏により「経営の本質はどこにあるのか？」をテーマに、自社の取り組み事例を取り上げ



講演会講師の(株)はくばく 長澤社長

ながら①利益が見える組織に ②価値を創造する＝粗利を上げる ③変化するのは当たり前 ④人こそ全ての4つのポイントから話がされた。

続いて記念式典が執り行われ、川崎会長の式辞の後、来賓として渡邊和彦副知事、樋口雄一甲府市長、戸島健雅全青中副会長が祝辞を述べた。また、歴代会長への感謝状贈呈に先立ち、青年中央会がこれまで歩んできた歴史と歩みを写真で振り返るスライドショーが上映されると、多くの出席者が当時を懐かしみ歓声をあげるなどして感慨深げに鑑賞していた。上映終了後、

第21代会長から直前会長となる第35代会長の15名に川崎会長が感謝状を贈呈し、代表して故永井慶喜氏（第21代会長）のご子息である永井学氏が登壇し感謝状を受け取った。

祝賀会では、中央会の上原重樹副会長と商工中金の森下昌典甲府支店長から祝辞があり、第27代会長の齋藤義一氏の乾杯により祝宴に入った。祝賀会の合間にはアトラクションが催され、世界大会での優勝実績や全国高総文祭の最高位の受賞歴がある甲府商業高校ソングリーダー部による演技披露、県内出身のシンガーソングライターのサノケンがギターの弾き語りで会場を大いに盛り上げた。

最後に須田猛実行委員会委員長が参加者に感謝の意を述べ、創立50周年記念事業は盛会裏に終了した。

式典当日には、参加者への記念品として青年中央会の焼き印マークの入った鈴木製菓(株)（第32代会長 鈴木浩文氏）のお菓子セットと「創立50周年記念誌」が配付された。



感謝状を読み上げる川崎会長と総代の永井学氏

歴代会長（感謝状贈呈者）

敬称略

歴代	氏名	所属団体
第21代	永井 慶喜	山梨県中小企業団体青年中央会青中倶楽部
第22代	梅本 実	山梨県パン協同組合青年部会
第23代	中西 正次	山梨県電気工事工業組合青年部
第24代	長田 達機	山梨県中小企業団体青年中央会青中倶楽部
第25代	中澤 一浩	山梨県電気工事工業組合青年部
第26代	上原 重樹	協同組合ファッションシティ甲府アリア研究会
第27代	齋藤 義一	甲府食肉三水会
第28代	初鹿 武仁	インテリジェントコミュニケーション事業協同組合青年部
第29代	小林 育也	協同組合山梨異業種交流青中倶楽部青年部会
第30代	小澤 浩	協同組合山梨異業種交流青中倶楽部青年部会
第31代	山縣 正道	山梨県塗装協同組合青年部甲塗会
第32代	鈴木 浩文	山梨県食品工業団地協同組合青年部
第33代	須田 猛	山梨県自動車整備商工組合AMS山梨青年部
第34代	矢部 兵衛	協同組合山梨異業種交流青中倶楽部青年部会
第35代	河野 嘉孝	協同組合山梨異業種交流青中倶楽部青年部会

県内経済の先行きは？各業界の今後の見通しについて情報交換

情報連絡員会議を開催

中央会では、11月12日（金）ベルクラシック甲府で情報連絡員会議を開催、新型コロナウイルスの影響で経済活動に制限を受ける各業界の売上や収益の状況と今後の見通しなどについて情報交換を行った。

情報連絡員制度は、県内の各業界を代表する組合の役職員50名に「情報連絡員」として毎月の業界の景気動向や中小企業の経営に関する意見や要望等を聞き取り、全国中央会を通じて政府の経済政策や支援施策の展開に活用している。また、中央会の重要な業界情報として、マスコミへの県内経済の動向の情報提供、中央会機関紙への掲載を行なっている。

会議では、新型コロナウイルスの感染者数が減少し経済が動き出していると感じている事業者は多いものの、木材や鋼材、燃料などあらゆる原材料の価格が上昇し、価格の上昇分を販売価格に転嫁できず収益が圧迫され、収益の悪化や消費者の買い控えによる売

上の減少など、今後への影響が懸念されるとの報告が多く聞かれた。

座長の栗山会長は、「特に燃料の高騰は、影響を受ける業界が多いことから先行きが見通せない状況は続くのではないかと。中小企業は、これまでも様々な困難を経営努力や創意工夫で乗り越えてきた。各社、各業界で様々な課題を抱えていると思うが、中央会等の支援を活用していただき一緒に乗り越えていきましょう。」と締めくくった。

また、会議終了後には甲府税務署の廣地将史氏より、令和5年10月1日より導入される「インボイス制度」について導入までの準備や運用についての説明がされ、参加者からは、組合の賦課金の会計処理方法など、組合会計に特有の質問がされた。



事業活動を通じたSDGsから業界の向上につなげる

令和3年度視察研修事業を開催

組合の役職員で構成される山梨県中小企業組合等事務連絡協議会（坂本義博会長、会員数40団体）は、11月17日に約20名が参加し、長野県伊那市の「伊那食品工業株式会社」の視察研修を行った。

本協議会では例年視察研修を行ってきたが、新型コロナウイルス感染症の影響で2年ぶりの実施となった。コロナ禍により経済環境や働き方の変化が進み、組合員企業でもこうした変化に対応し解決していくことが求められている。加えて、昨今話題に挙げられているSDGsの取り組みも企業の存続のための重要課題に今後はなっていくと思われる。そこで、こうした課題への取り組みに

山梨県中小企業組合等事務連絡協議会

対する先進的な事例を組合等事務局が理解し情報を組合員企業に提供することが業界の向上に役立てるという視点から、今回の視察研修を企画した。

視察先企業である伊那食品工業は、寒天の製造販売で国内シェアの約8割を占める。長野県伊那市の工場周辺一帯の緑地は「かんてんぱぱガーデン」と呼ばれ、働く社員はもちろん、地域の人や観光客が安心して過ごせる空間づくりに取り組んでいる。美しい街づくりは防犯面でも効果が高く警察署から感謝状が贈られ、地域に密着した施設運営を行っている。当日は、職員による企業の概要説明をはじめ、SDGsを目標にあげて積極的な取り組みを展開する企業の理念に触れることができた。また工場見学では、最新技術の導入により人と機械の両方の確認作業による生産性の向上や安全衛生管理の取り組みも学んだ。

視察研修事業は、会員同士の交流と情報交換から組合間連携につなげるものとして定着しており、坂本会長は「組合等運営の中枢とも言える事務局の強化のために今後も魅力的な事業・情報を提供していきたい」と語った。



たくさんのご参加ありがとうございました



業界が一丸となって 山梨県産ワインをPR

県産ブドウの甲州やマスカット・ベーリーAでつくられた新酒ワインによる「山梨ヌーボー」の解禁日の11月3日にあわせ、山梨県ワイン酒造組合（安蔵光弘会長）は、イトーヨーカドー甲府昭和店で県内33ワイナリーによる試飲・販売会を開催した。

例年、東京・日比谷公園などで「山梨ヌーボーまつり」を大規模に開いていたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い東京でのイベントは2年にわたり中止していた。首都圏での緊急事態宣言の解除、飲食店への営業時間短縮とアルコール提供の停止がおよそ11カ月ぶりに解除され、秋の行楽シーズンも重なったことから今回の企画開催となった。



たことから今回の企画開催となった。

セレモニーでは、山梨県のワイン県副知事に

山梨県ワイン酒造組合 山梨県ワイン酒造協同組合

就任している日本ソムリエ協会の田崎真也会長と安蔵光弘会長によるトークショーが行われ、料理とワインの合わせ方など、ワインの楽しみ方について語られた。

また、国の地理的表示（GI）制度により「山梨」と表示できる20種類の山梨県産ワインを一同に集め、山梨県ワイン酒造協同組合（三澤茂計理事長）が「YAMANASHI WINE FESTA2021」を常盤ホテルと連携して11月5日から約1ヶ月開催した。金・土曜には「Special Day」を設け、ワイナリー8社が蔵自慢の逸品を振る舞った。期間中に常盤ホテルに滞在したお客様に山梨県産のワインを知ってもらうための試飲サービスも併せて行われた。県外から訪れた女性客は、「思いがけずに山梨県産ワインを楽しめて感激した。甲州種のワインは飲みやすいので、お土産に購入したい。」とコメントが寄せられた。

2つのイベントとも、待ちかねた愛飲家らが味や香りを確かめながら、それぞれお気に入りのワインを楽しむ華やかなものとなった。



ハタオリマチフェスタ 3年ぶりの開催！

山梨県絹人織織物工業組合（渡辺教一理事長 組合員265社）では、10月30日～31日の2日に渡り開催された『ハタオリマチフェスティバル』に、組合員の有志の「ハタオリマチトラベル」のメンバー（15社）が参加した。

このイベントは、富士吉田市の市街地活性化事業の一環として、『ハタオリマチフェスタ実行委員会』の主催で行われたもので、2016年から毎年開催されてきた。しかし2019年は直前の台風の影響、2020年は新型コロナウイルスの感染拡大により中止され、今回3年ぶり4回目の開催となった。

富士北麓地域は古くから織物産地として栄えてきたが、全国的に産地としての知名度は低く、約1000年から続く歴史ある織物産地を全国へ発信したいという思いから富士吉田市の協力により2015年にハタオリマチフェスタ実行委員会が立ち上がりイベントが始まった。

イベントには木工業者、雑貨小売業、飲食業なども参加し、小室浅間神社ほか15箇所で行

山梨県絹人織織物工業組合



われた。織物に触れる機会を提供しようと、富士吉田市内の繊維業者だけでなく群馬県桐生市や静岡県浜松市などからも参加があり、約80業者が参加した。

イベントでは富士北麓地域の織物製品の特徴について語るトークショーや音楽ライブなども行われ、2日間で県内外から延べ1万人が訪れ、各所では賑わいを見せた。

渡辺教一理事長は、「確かな技術に裏付けされた富士北麓地域の織物を少しでも身近に感じていただけるようにイベントを企画した。これからは富士北麓地域の織物の品質の高さを積極的にPRしていきたい」と話した。



やまなし素材生産事業協同組合

新設組合紹介

森林県山梨の木材業界の中核的な役割を果たす

生育する樹木を伐採して丸太として加工出荷することを「素材生産」という。減少している県内の素材生産業者の課題を連携して克服・改善していくために、素材生産事業者5社がやまなし素材生産事業協同組合（河野 東理事長）を今年8月に設立した。

我が国の素材生産量は、1960年代中頃の5,200万㎡をピークに徐々に減少、安価な外材に圧され国産木材の価格は低迷し、2000年前後には約1,600万㎡を割り込むまで減少した。一方でプラスチックの代替素材や木質バイオマスエネルギーへの注目の高まり、低層および中高層建築物の木造化の動きも活発化し、ここ数年では2,200万㎡を維持するまでに回復した。しかし、素材生産関連事業者数は高齢化により減少、最新の調査では、林業経営体は全国で約34,000件、10年前の140,000件から76%減少、県内でも2020年調査で5年前から67%減少しわずか150件余りとなっていた。

素材生産業者は、森林所有者と木材製品等製造者をつなぎ木材を安定的に供給し、伐採後の再造林を推進する担い手として木材業界の中核的な役割を担っている。事業者が減少し続けると業種・

業界としての維持が難しくなることから全国的に事業者間連携や組合組織化の必要性が高まっている中、いち早く設立をしたのが本組合である。

組合では、組合員の取り扱う

良質な県産材を合板メーカーをはじめ需要家に安定的に供給するための共同販売事業、組合員の事業継続と事業承継を進める後継者育成などを中心に活動をすすめることとしている。

総面積77.8%を森林が占める山梨県では、森林の整備や保全、木材利用による炭素の貯蔵や省エネ、化石燃料の代替等による気候変動対策を、他県に率先して取り組むことが求められている。河野理事長は、「組合事業を通じて積極的に地域経済の活性化と環境づくりにも貢献していきたい」と今後の意気込みを語る。



木材は搬出しやすいように伐採現場で加工、最新の設備も欠かせない



情報BOX1



中央会・会員団体関係者

秋の叙勲・褒章

- 旭日小綬章** 北原 兵庫氏
山梨県中小企業団体中央会 副会長
山梨県酒造組合 会長
- 黄綬褒章** 大寄 芳朗氏
山梨県水晶美術彫刻協同組合 副理事長
- 藍綬褒章** 金丸 正幸氏
山梨県中小企業団体中央会 常任理事
山梨県電気工事工業組合 理事長

県政功績者

- 小玉 実氏** 山梨県中小企業団体中央会 前理事
山梨県水晶宝飾協同組合 前理事長
- 天野 勝氏** 山梨県食肉事業協同組合連合会 会長
- 加々美好氏** 富士吉田織物協同組合 専務理事

情報BOX2

子どもの声

聞こえていますか？



ストップ！児童虐待！
知っていますか？



「子供の前でのケンカ」

は児童虐待です！

心理的
Psychological



「虐待！？」
と思ったら ☎189番 緊急時は ☎110番

山 梨 県 警 察

やまなし ものづくり最前線!

中央会では、国が行う「ものづくり補助金」の山梨県地域事務局として、試作開発等に取り組む事業者への補助金交付や事業推進の支援に取り組んでいます。このコーナーでは、「ものづくり補助金」を活用し、新たな事業展開のための試作開発に取り組んでいる事業者を紹介します。

若杉歯科クリニック

地域に密着した高精度な 口腔外科治療の実現

開業から40年を迎える若杉歯科クリニック(山梨市)は、山梨市駅徒歩1分の立地にあり、高齢者から子供連れの親子、学生など、長く地域に根差した歯科治療を行ってきた。また、歯科治療だけでなく、様々な専用機器による口腔外科分野の高度な治療ができる地域でも少ない歯科医院でもあった。

歯科医療は、歯科医師が患者の治療歴を把握し医師と患者が理解し合って治療を進めることが必要で、長く診療をしている患者であればあるほど、その重要性が増してくる。そのため、高度な歯科治療が必要になり転院する場合に患者は詳しい症状がわかる紹介状や再度の初診が必要となり、遠方から通院する場合には時間や交通費など負担がかかることや紹介から治療まで時間がかかり症状が悪化するケースもある。

当院では、大学病院や総合病院と同等の技術を持ち、患者の立場に立った高い成功率を上げることができる高度な治療を初診から一貫して完結できる治療こそが、地域歯科医療の最も望まれる最終形と考えた。

当院でも、根尖性歯周炎(炎症が歯の根の先まで進む歯周病)の歯根端切除治療やインプラント治療などの高度な治療がより適切に行えるようになるために、高度な医療設備の導入が必要となっていた。

口腔外科の高精度口腔外科治療例である「根尖性歯周炎治療の歯根端切除術」で大きな膿疱切除手術の際にわかりやすいレントゲン立体画像で正確な診断を可能とする『歯科用3次元CT』、0.2mm以下の病変の取り残しや歯根の亀裂などを拡大した



歯根端切除術



医院長 若杉 好文 氏 副医院長 若杉 好彦 氏



視野で捉える『マイクロスコープ』、また、「インプラント治療」の際のインプラントポジションを固定するマウスピース型装置のサージカルガイドを作成するためのCAD-CAM機『ACオムニカム』、『ミリングマシン』他、各種の高度な機器を導入した。

3次元レントゲン画像による歯科用CTネットワークで患者1人ひとりに丁寧に治療計画を説明し手術できる環境が整い、院内ですべての治療が完結できることで治療にかかる時間が短縮され患者の負担も大きく軽減した。

若杉医院長は、「型をとる、仕上げる、具合を見る、調整する等々、治療時間を含めてあらゆる時間が短縮できました。CADにより360°方向の立体的

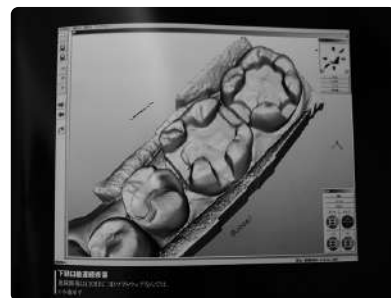
画像で型を取り寸分の狂いもない義歯を造ることができ、技工も自院内で完結できるので、場合によっては少々待っていただくだけで仕上がるという凄技もできるようになりました。より多くの患者への高精度な口腔外科治療を安定して提供できる機会を増やすことで、地域の歯科医療の高度化にこれからも努めていきたい。」と語った。



データをチェックしながら患者とも打ち合わせが可能



サージカルガイド
インプラント治療の一翼



3次元レントゲン画像

コロナ禍における外国人技能実習生の受け入れ 外国人技能実習制度適正化講習会を開催

中央会では、10月26日(火)に甲府市「ベルクラシック甲府」で、外国人技能実習制度適正化講習会を開催、県内で外国人材の活用と受入体制の整備に取り組んでいる組合や企業などの関係者24名が出席した。

講習会では、「外国人技能実習制度の現状とコロナ禍における留意点」をテーマに外国人技能実習機構(OTIT)東京事務所の沼本光江次長の講演が行われた。

沼本次長からは、今年6月末の技能実習生の数は約35万人で、コロナ禍により前年末に比べ約24,000人減少、受入人数の多い国はベトナム、中国、インドネシア、受け入れ業種は建設関係、



講師の沼本光江氏

食品製造関係、機械・金属関係が最も多いとの説明があった。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等で、技能実習の継続

が困難になったことや出入国ができないなど課題が発生して

いる。それに対して雇用調整助成金等を活用して技能実習の継続を検討することや休業や解雇にあたって技能実習生にも日本人労働者と同様の労働関係法令が適用されるので施策を活用し技能実習生が安心して実習が行えるよう取り組んでもらいたいとの説明があった。機構では、技能実習生の感染防止のため技能実習生向けに感染予防の注意事項をまとめたリーフレット、ホームページやSNSで情報発信しているのを利用してほしいとの依頼もあった。

質疑応答では、「技能実習制度」では技能実習2号終了後に3号に在留資格を変更する場合に実習生は一時帰国しなければならないが、「特定技能制度」では技能実習2号終了後に一時帰国することなく特定技能1号に変更ができるため、特定技能制度と同様に一時帰国の条件を廃止してほしいとの要望があった。



熱心に説明を聞く参加者



担当：古澤孝

人を「^{つな}絆ぐ」・組織を「^{むす}結ぶ」・地域を「^{つむ}紡ぐ」 ～ポストコロナは変革の時代、連携と革新で躍進する中小企業へ！～

11月25日、横浜市の「パシフィコ横浜 国立大ホール」で全国中央会と神奈川県中央会主催の第73回中小企業団体全国大会が開催され、全国の中企業組合等の関係者約1,700名が参加、本県からは栗山会長をはじめ、組合関係者など19名が出席した。

全国大会は、中小企業・小規模事業者の振興施策を通じて持続的な成長と豊かな地域社会の実現を中小企業組合等の総意として内外に広く表明することを目的に開催している。

大会宣言では、中小企業・小規模事業者、とりわけ、飲食・宿泊・サービス業等の事業者や関連事業者が新型コロナウイルス感染症対策を必死に受け止め耐え忍んできたことから、その努力が一刻も早く報われるよう、国等に対して効果的なコロナ対策と医療体制の整備を引き続き要望する



第73回中小企業団体全国大会(神奈川県)参加者

とともに、次のスローガンのもと本大会の各決議事項の早期実現を強く求めた。

- 一、万全な資金繰り対策、消費喚起対策による早期景気回復
- 一、デジタル化・事業再構築等の投資支援策の拡充・強化
- 一、震災復興・豪雨風水害対策の拡充
- 一、実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進
- 一、安価・安定なエネルギー・原材料供給体制の確立
- 一、中小企業組合等連携組織対策の拡充

大会にあわせて行われた表彰式では、全国から35優良組合、76名の組合功労者、20名の中央会優秀専従者が表彰された。本県からは、優良組合として韮崎市環境事業協同組合(向山陽一郎理事長)、組合功労者として北原兵庫会長(山梨県酒造組合)が受賞の栄に浴した。

第74回大会は、来年11月10日(木)に長崎市で開催することが決定、全国中央会の森洋会長から長崎県中央会の石丸忠重会長に大会旗の引き渡しが行われ、閉会した。



優良組合
山梨県酒造組合
(向山陽一郎理事長)



組合功労者
北原兵庫会長
(山梨県酒造組合)



担当：古澤孝



10月報告のポイント

売上高 D.I 値は再びプラスを示すが・・・

原材料・燃料の高騰、中小企業者の事業継続に大きな課題

概況

10月の県内景況の D.I 値は、全体で売上高 +4 ポイント（前年同月比 +38）、収益状況▲20 ポイント（前年同月比 +14）、景況感▲10 ポイント（前年同月比 +36）となり、売上高 D.I 値が2ヶ月ぶりに再びプラスを示した。

業種別では、製造業は売上高▲5（前年同月比 +40）、収益状況▲25（前年同月比 +30）、景況感▲20（前年同月比 +40）となった。新型コロナウイルスの感染者数が減少し事業活動がしやすくなったと感じる（水産物加工業、紙製造業）、大規模な展示会や商談会の開催に期待が持てる（織物業）などの報告があった。

酒類製造業は、昨年同時期の「GoTo トラベルキャンペーン」期間中の売り上げと比較すると売り上げは減少したが、今後は酒類の消費が拡大していくと予想している。

一方、家具製造、印刷、業務用機械器具製造、電気機械器具製造などには、需要の回復感はあるものの、木材、紙、鋼材などの価格が高騰していることから、売価等への価格転嫁が進まなければ、今後も厳しい経営状況が続くと考える事業者もあった。

非製造業では、売上高 +10（前年同月比 +37）、収益状況▲17（前年同月比 +3）、景況感▲3（前年同月比 +34）となった。ジュエリー製品卸売業、食肉小売業、宿泊業では人出の増加を感じており、事業活動が好転することを期待しているとの報告がされた。

道路貨物運送業も荷動きが少しずつ感染症拡大前の状況に戻りつつあるとする反面、燃料価格が高騰し続けているが荷主の経営状況を鑑み価格転嫁が難しいと報告、またガソリンスタンドからも原油の高騰が止まらず、販売価格への転嫁がしきれず収益が悪化しているとの報告があった。

D.I 値を前月と比べると、全業種で売上高はプラスを示し回復傾向は顕著だが、収益状況、景況感はマイナスのまま、ほぼ横ばいの状況となっている。新型コロナウイルスの感染者数が減少し経済が動き出していると実感している事業者は多いが、製造業・非製造業共に、原材料・燃料の高騰により収益が圧迫されているとの声が多く聞かれ、原価高騰分を価格転嫁し販売・発注元へ請求することが難しく、事業者は動向を注視するほかないのが実情と言える。今後の事業継続に大きな影響を与える可能性が高く、注視が必要である。

業界からのコメント

●製造業

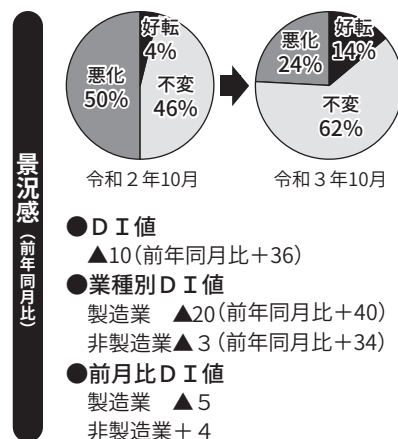
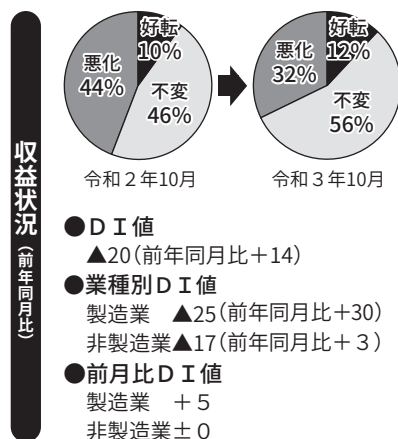
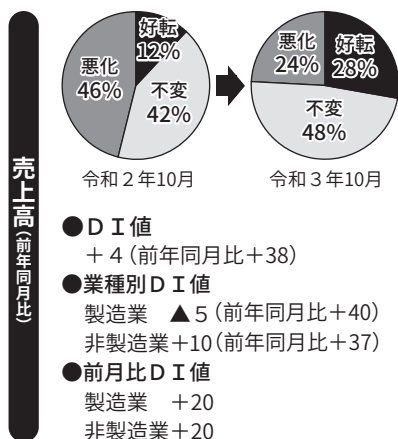
食料品（水産物加工業）	業務用食材の売り上げが好調。全体の売り上げが前年同月比 112%となり、新型コロナウイルス感染拡大前の売り上げの 70%ほどに回復してきた。感染者数が減少し経済活動が活発になってきたと感じている。
食料品（ワイン製造業）	GoToトラベルキャンペーンのあった前年同月と比較すると、売り上げ、収益状況ともに悪化した。10月は人流が増加していると感じたが、酒類の需要は高まっていない。11月には消費が拡大することを期待している。 また、8月の天候不良がぶどうの品質に影響していたが、9月に入り天候が回復したことで良質なワインに仕込むことができた。
繊維・同製品（織物）	裏地部門は全体として依然厳しい状況にあるが、輸出用の胴裏地にわずかな動きがある。インテリア部門では、今まで止まっていた住宅関連商品に注文が入るようになってきている。
木材・木製品製造	例年この時期は繁忙期になるが、新型コロナウイルスやウッドショックの影響により少し落ち込んでいるように感じる。木材の価格が上昇している反面、売り上げがさほど伸びていないことから、前年より仕事量が減少しているといえる。
家具製造	新型コロナウイルスの影響によりマレーシアでの生産がストップし、海外生産品の欠品が出ていることから、国内で補完生産が開始されたが原価は高騰、販売価格に転嫁できず収益が悪化した。
紙製造業	前年同月と比べ売り上げ、収益状況ともに▲30%となった。しかし、新型コロナウイルス感染者数が減少したことで、経営の影響が少なくなったように感じている。
印刷・同関連業	インキ、用紙、ガソリンなど、様々な原材料が大幅に値上がりしている。販売価格に転嫁できず、前年同月と比べ売り上げは増加したが、収益は悪化した。
窯業・土石（山砕石）	公共工事の減少とリニア新幹線関連工事の遅れが大きく影響し、前年同月と比べ売り上げ・収益ともに▲20%となった。出水期間にあたるため河川関連工事の施工が進まないことも要因ではあるが、工事量減少の影響が大きすぎる。
一般機器（業務用機械器具製造業）	業界全体では受注量は回復傾向にあるが、半導体関連部品を含め部品不足が影響し減産傾向にある。材料費などあらゆる面で物価が高騰し収益を圧迫、厳しい経営状況が続くと考えている。
電気機器①（電気機械部品加工業）	前年同月と比べ、売り上げ、収益ともに悪化した。半導体の供給不足や部材の納品が遅れていることから、半完成品の在庫が増えている。

次ページにつづく

電気機器② (電気機械部品加工業)	半導体製造関連の受注は依然順調に推移している。アルミ、ステンレス、銅などの鋼材価格が値上がりしているが製品価格に転嫁できず、売り上げが増加しても収益は悪化している。11月と1月にアルミが再び値上がりすることから、発注元との交渉が必要だと考えている。
宝飾(研磨)	10月27日(水)～29日(金)にかけて毎年恒例の国際宝飾展が開催された。来場者は前年より増加したが、売上金額は前年と変わらず、10月期の売り上げも前年同月と比べて変化はなかった。
宝飾(貴金属)	前年同月と比べ売り上げが▲30%となった。新型コロナウイルスの影響により、各組合員が営業活動を充分に行えないことが理由だと考えている。

●非製造業

卸売(自動車中古部品)	前年同月に比べて各素材の相場は非常に良いが、新車の納期遅延を受けて廃車の発生台数が減少している。10月の新車販売台数も前年同月比で30%以上減少している。現状では改善の見込みはない。
小売(青果)	やまなしグリーン・ゾーン認証を受けていない飲食店等への休業要請は解除されたが、来客数が伸びていないのか消費の動きは鈍い。行楽、外食等での人流の増加を期待している。
小売(食肉)	GoToEatキャンペーンのあった前年に比べると売り上げがやや減少した。人流が増加してきていると感じているが、各種飲食店の動きは不安定。11月は、県や市で実施されている宿泊割引を活用する県民や県外からの旅行、修学旅行などに動きが見られ予約状況は好調なようで、商品が動き始めている。
小売 (電気機械器具小売業)	前年同月の山梨県グリーンゾーン助成制度により、空調関連商品への需要が拡大していた地域店で150%近く売り上げが増加していた頃から比較すると大幅に減少した。量販店における前年の特需による伸び率は大きくなかったが、全体で見ても前年同月比▲43%となった。
小売(ガソリン)	原油の高騰が止まらない。市場価格に完全転嫁することができず、売り上げは増加したが、収益は悪化。
宿泊業	まん延防止等重点措置が全県で解除されたが、いまだ資金繰りに厳しい状況が続いている。少しずつ人の流れが出てきているように感じることから、11月以降はイベント等の開催や観光客の増加により、状況が好転することを期待している。
警備業	土木建築部門の警備業務は、工事発注量が増え天候にも恵まれたことから前年同月と比べ売り上げが増加した。加えて、新型コロナウイルスの感染者数が減少し、イベント等の警備業務も小規模ながら再開し、景況が好転してきたと感じている。しかし、下期に入り工事関連の警備業務の需要は更に増大するものの、深刻な警備員不足が続き、既に年内は受注ができない状態にある。
建設業(総合)	公共工事は前年同月と比べ件数は18%減少、請負金額も11%減少した。10月末累計では件数は1.6%減少したものの、請負金額では9%の増加となっている。建設業関連の保証会社が実施している「建設業景況調査」によると、7～9月に比べ10～12月の動向は「悪い傾向がやや強まる見通し」とされており、今後の動きを注視したい。
建設業(型枠)	夏以降、公共工事やリニア新幹線関連施設の建設、アフターコロナを見据えた民間の設備投資が増えた。しかし、コンパネや金物類の材料代の高騰に加え職人が不足、受注は多いが収益が上がらない状況。
建設業(鉄構)	鋼材、副資材の価格高騰や工期の延期や長期化により、受注価格及び納期の面から契約に結びつかないケースが出てきている。受注後も材料の価格が上昇し続けているため、収益が圧迫される状況が続いている。
設備工事(管設備)	売り上げが前年同月比38%程増加した。しかし、月単位で工事量変動していることや資材が高騰していることから、今後の見通しが難しい。
運輸(タクシー)	休日前の夜間タクシーの利用は増加傾向にあるが、それ以外の日は利用客が減少したままで変化を感じられない。11月に行われる「やまなし観光Ma a S」(スマートフォンを使い、バスやタクシーなど複数の交通手段を組み合わせる目的地まで移動する次世代交通サービス)の実証実験が、良い結果を残しその後に活かせることを期待している。
運輸(トラック)	荷動きが少しずつ感染症拡大前の状況に戻りつつあるが、燃料価格が高騰し続けているため収益状況を悪化させている。荷主企業も新型コロナウイルスの影響を受け減収・減益となっていることから、燃料高騰分を価格に転嫁し請求することが難しい。今後の燃料の価格変動を注視したい。



$$DI値 = \left(\frac{\text{良数値} - \text{悪数値}}{\text{調査対象組合数}} \right) \times 100$$

令和3年度中小企業者に関する 国等の契約の基本方針について

9月24日、官公需※における新規中小企業者を含む中小企業・小規模事業者の受注機会の増大を図るため、「令和3年度中小企業者に関する国等の契約の基本方針」を閣議決定しました。

※官公需とは

国や独立行政法人、地方公共団体等が、物品を購入する、サービスの提供を受ける、工事を発注することを『官公需』といいます。

国は、中小企業者の官公需の受注機会を増大するために、『官公需についての中小企業者の受注の確保に関する法律』に基づいて、中小企業者向けの官公需契約目標や目標達成のための措置を内容とする『中小企業者に関する国等の契約の基本方針』を毎年度閣議決定し、公表しています。

また、共同受注体制の整っている事業協同組合などに対して、『官公需適格組合』としての証明書を発行し、受注機会の増大を図っています。



今年度の基本方針では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に鑑み、中小企業・小規模事業者に対してこれまで以上に配慮する観点から、中小企業・小規模事業者向け契約目標は、国等全体として61%、新規中小企業者向け契約目標は、引き続き3%と設定しました。

また、最低賃金額の大幅な引上げが予定されていることから、受注者である中小企業・小規模事業者が最低賃金引上げ分の円滑な価格転嫁を図ることができるよう柔軟に契約額の変更に応じること、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている中小企業・小規模事業者に対する配慮を強化するため、入札参加機会の確保のための柔軟な対応を行うこと等を明記しました。

令和3年度に新たに講ずる主な措置

(1) 最低賃金額の改定に伴う契約金額の見直し

- ①国等は、契約前において、年度途中の最低賃金額の改定を踏まえた予算を確保し契約時点で反映しておくことや、人件費単価が改定後の最低賃金額を下回った際は適切な価格での単価の見直しを行う旨の条項を予め契約に入れることなどにより、年度途中で最低賃金額の改定があったとしても、受注者が労働者に対して最低賃金額以上の賃金を支払う義務を履行できるよう配慮するものとする。
- ②国等は、契約後において、最低賃金額の改定があった場合には契約金額を変更する必要があるか否かについて受注者に対し確認し、最低賃金引上げ分の円滑な価格転嫁を図るため契約金額を変更するなど、受注者が労働者に対して最低賃金額以上の賃金を支払う義務を履行できるよう配慮するものとする。

(2) 入札参加機会の確保のための柔軟な対応

国等は、入札の公正性、透明性及び競争性に留意しつつ、案件ごとの事情を勘案した上で、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止しつつ中小企業・小規模事業者の入札参加機会の確保が図られるよう、入札手続等において意見聴取等が必要な場合にはオンラインでの会議等を最大限活用することや、入札参加者等と資料のやりとりをする際はメールや郵送等でも対応するなど、柔軟かつ適切な対応に努めるものとする。

情報BOX3

相談 事前
無料 予約制

甲府市 中小・小規模事業者 に向けた個別経営相談会

甲府市では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による売上の減少や創業に係る不安など、中小・小規模事業者の皆さまが抱える経営問題等の悩みを解決するために、よろず支援拠点専門相談員による個別経営相談会を開催します。

日時 令和3年 ①12月3日(金) ②12月14日(火)
午前9時から午後4時

※1事業者あたり1時間程度とさせていただきます。

会場 ①甲府市役所 本庁舎7階 会議室7-1
②甲府市役所 本庁舎8階 会議室8-2
(甲府市丸の内1丁目18-1)



■対象：甲府市内に事業所がある中小企業者・小規模事業者

■相談無料です。

■申込方法：事前予約制となります

申込用紙をホームページからダウンロードしてご記入いただき、FAXでお申し込みいただくか、申込書の内容をメールに記載または添付し、お申し込みください。電話でも受付します。

※希望者多数の場合は、先着順とさせていただきます。

■相談内容（下記以外の相談も受け付けます）

- ・経営全般
- ・各種給付金、補助金等の申請手続き方法、融資について
- ・創業支援関係など

主催：甲府市 協力：山梨県よろず支援拠点

お問い合わせ

・甲府市産業部商工課 甲府市丸の内1丁目18-1
TEL：055-237-5695 FAX：055-227-8065
メール：syokous@city.kofu.lg.jp

情報BOX4

山梨労働局 からのお知らせ



令和3年10月1日から、山梨県最低賃金が改正されました。改正後の金額は、

時間額 866円

です。

詳しくは

山梨労働局 賃金室(055-225-2854)

甲府労働基準監督署(055-224-5616)

都留労働基準監督署(0554-43-2195)

鰺沢労働基準監督署(0556-22-3181)

まで

情報BOX5



山梨県の
法人様
限定！

富士山静岡空港 FDA路線モニター 搭乗キャンペーン

先着100社様

キャンペーン内容

富士山静岡空港を発着するFDA（フジドリームエアラインズ）便のモニター搭乗にご招待！

対象

山梨県内の法人様 先着100社様（1社3名まで）

キャンペーン期間

令和3年11月26日～令和4年3月26日の任意の日
(申込時に、搭乗希望日・便を確認させていただきます。ただし、空席状況によりご希望に添えない場合があります。)

申込方法

①キャンペーン参加希望であること、②法人名・担当者名、③連絡先(E-mail)を記載の上、静岡県空港振興課(airport-shinkou@pref.shizuoka.lg.jp)へ御連絡ください。事務局より申込書をお送りします。

【お問合せ先】富士山静岡空港利用促進協議会
TEL：054-252-8161

Shinkumi Bank

信用組合
しんくみ

ちかくにいるから、地域の皆さまのための身近な相談窓口
チカラになれる。

総合相談センター 『パートナーズ』

相談は無料です お気軽にご相談ください！

【法人および個人事業主のお客様】

創業・新事業開拓、事業承継
経営相談などに関するご相談及び専門家派遣
各種融資商品のご案内



うさけん

【個人のお客様】

住宅ローン、個人ローンのご相談
公的年金の受給に関するご相談



うさみん

営業時間 平日9時から17時15分まで

お問合せ先 0120-732-711（総合相談ダイヤル）

0120-487-652（年金相談ダイヤル）

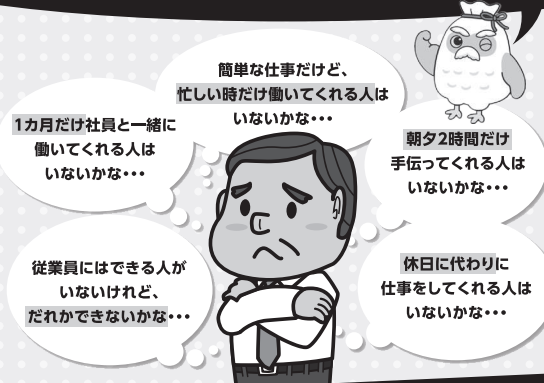
場 所 甲府市中央1丁目18番6号（桜町通り）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

積極のベストパートナーをめざして
YKS 山梨県民信用組合

私たちは
緑の資金に
参加しています。

シルバー人材センターを 活用してみませんか？



簡単な仕事だけど、忙しい時だけ働いてくれる人はいないかな...

1カ月だけ社員と一緒に働いてくれる人はいないかな...

朝夕2時間だけ手伝ってくれる人はいないかな...

従業員にはできる人がいないけれど、だれかできないかな...

休日に代わりに仕事をしてくれる人はいないかな...

そんな時は... **お任せください!!**

シルバー人材センターでは、多彩な経験や技能を持った会員がこんな仕事をしています。

- 運転業務 (自家用車) ● 飲食店の調理補助 ● 販売の手伝い ● 製造の補助
- イベントの手伝い ● 事務補助 ● 受付管理 ● 介護施設での補助業務
- 施設での清掃 ● グリーンセンター仕分作業 ● 農業補助 など

高齢者活躍人材確保育成事業

まずは、お気軽に地域のシルバー人材センターにお電話してください。

公益社団法人 **山梨県シルバー人材センター連合会**

甲府市飯田3-3-28 スカイハイツ1F

TEL 055-228-8383 FAX 055-228-8389

URL <http://www.y-sjc.jp/> E-MAIL y-rengo@sjc.ne.jp



センター名	担当地域	住所／電話／ファックス
甲府市シルバー人材センター	甲府市	甲府市相生2-17-1 TEL 055-222-9488 FAX 055-222-9490
東部広域 シルバー人材センター	● 大月事務所	大月市大月町花咲10 TEL 0554-22-2900 FAX 0554-22-2900
	● 都留事務所	都留市田野倉1330 TEL 0554-45-3500 FAX 0554-45-3500
	● 上野原事務所	上野原市上野原3757 TEL 0554-62-4700 FAX 0554-62-4700
東山梨地区広域 シルバー人材センター	● 塩山事務所	甲州市塩山上於曾1833 TEL 0553-32-4110 FAX 0553-32-4109
	● 山梨事務所	山梨市小原西955 TEL 0553-22-4150 FAX 0553-22-4006
富士五湖広域シルバー人材センター	富士吉田市・西桂町・山中湖村・忍野村・鳴沢村・富士河口湖町	富士吉田市松山1248 TEL 0555-22-9241 FAX 0555-22-9244
峡北広域シルバー人材センター	韮崎市北杜市	韮崎市中田町中条1795 TEL 0551-25-6300 FAX 0551-25-6301
峡南広域 シルバー人材センター	● 諏訪事務所	市川三郷町富士川町 南巨摩郡富士川町諏訪655-8 TEL 0556-22-8701 FAX 0556-22-8702
	● 身延事務所	早川町身延町南部町 南巨摩郡身延町梅平2483-36 TEL 0556-62-1165 FAX 0556-62-1572
峡中広域シルバー人材センター	甲斐市中央市昭和町	甲斐市藤原2644-3 TEL 055-279-6626 FAX 055-279-6620
南アルプス市シルバー人材センター	南アルプス市	南アルプス市飯野2806-1 TEL 055-282-6633 FAX 055-282-6634
笛吹市シルバー人材センター	笛吹市	笛吹市石和町小石和751 TEL 055-225-6703・6704 FAX 055-262-8702

※丹波山村、小菅村、道志村はシルバー人材センターが未設置です。

トラックは
おかあさんの
あたたかい
おんぶ。



令和3年度環境標語最優秀作品

トラックが繋ぐ
人、物、自然と 明るい未来

 (一社) 山梨県トラック協会

JFC 日本政策金融公庫
国民生活事業

日本政策金融公庫 国民生活事業からのご案内

「事業資金」のお知らせ

新型コロナウイルス感染症特別貸付のご案内

ご融資額 別枠 8,000 万円以内
返済期間 設備 20 年以内、運転 15 年以内

ご相談は甲府支店が承ります。
お気軽にご相談ください。

「国の教育ローン」をご存じですか？

制度創設以来、40年以上の歴史を
持つ公的な融資制度です。

融資限度額 〳 お子さま1人につき / 一定の要件に該当する場合 /
上限 350 万円 上限 450 万円

「国の教育ローン」3つのポイント

1 固定金利
年 1.66%
令和3年5月6日現在
最長 15 年の
長期返済

2 ご家庭の状況
に応じた
優遇制度

3 (公財) 教育資金
融資保証基金
による保証

● お借入時の金利が完済まで
変わらない固定金利を採用
し、返済期間は、最長 15 年
までと長期です。

● 「国の教育ローン」は、母子
家庭、お子さまが3人以上の
世帯などを対象に、返済期間
の延長、金利の低減などの優
遇制度があります。

● 「国の教育ローン」では、
公益財団法人教育資金融資
保証基金による保証をご利用
いただけます。

日本政策金融公庫 甲府支店 国民生活事業
〒400-0031 山梨県甲府市丸の内2-26-2 Tel:055-224-5366

日本公庫は、民間金融機関の取組みを補完し、事業に取組む方々等を支援する政策金融機関です。